

幕張新都心モビリティコンソーシアム 中間まとめ報告会
議事要旨

時間： 2022年10月25日(木) 10:00～12:00

場所： Deloitte Greenhouse 清の間（丸の内二重橋ビルディング 16F）

※幹事社、運営支援事業者、事務局のみ。その他はオンライン

出席： 株式会社アイシン

イオン株式会社

イオンコンパス株式会社

イオンモール株式会社

株式会社ヴァル研究所

株式会社エイジス

NEC ソリューションイノベータ株式会社

株式会社 NTT ドコモ 千葉支店

小田急電鉄株式会社

OpenStreet 株式会社

京セラコミュニケーションシステム株式会社

京成電鉄株式会社

京成バス株式会社

株式会社建設技術研究所

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン

シャープ株式会社

株式会社スパサンフジ 幕張温泉 湯楽の里

双日株式会社

損害保険ジャパン株式会社

ダイナミックマップ基盤株式会社

株式会社千葉ステーションビル

東京海上日動火災保険株式会社

日本電気株式会社 千葉支社

日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

株式会社日立製作所 千葉支店

株式会社幕張メッセ

三井住友海上火災保険株式会社

三井不動産株式会社

三井不動産レジデンシャル株式会社

三ツ矢エミタスタクシーHD 株式会社
MONET Technologies 株式会社
神田外語大学
久留米工業大学
公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー
一般社団法人千葉県タクシー協会
幕張ベイタウン自治会連合会
千葉県
千葉市
デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

以上（順不同）

議題

- (1) 2022 年度コンソーシアムの体制について
- (2) 各 PT よりこれまでの議論内容と課題の共有
 - ア. 自律移動モビリティ PT
 - イ. マイクロモビリティ PT
 - ウ. モビリティ利活用 PT
 - エ. MaaS プラットフォーム PT
- (3) コンソーシアム全体の課題・後半にむけた準備について討議
 - ア. 各 WG 幹事と事務局によるパネルディスカッション
 - イ. 課題や問いをグループに分かれて検討(グループワーク)

配布資料

資料 1 中間まとめ報告会

議事内容

1. 開会
2. 議題

- (1) 2022 年度コンソーシアムの体制について
 - 千葉市より資料 1 に沿って説明。
 - 目的：2023 年春の幕張豊砂駅開業を見据え、開業時に実現可能なサービスや会員企業同士の連携について集中的に検討していく必要があるとともに、自動運転などのモビリティをはじめとして中長期的に検討すべき事項について

も意見交換を進める。

- 体制：モビリティサービスの導入・高度化を検討するモビリティ WG、サービスの最適化・一体化を検討する横連携 WG を設置し、その下に各テーマに沿った4つの PT を設置。

(2) 各 PT よりこれまでの議論内容と課題の共有

ア. 自律移動モビリティ PT

■ 京セラコミュニケーションシステム株式会社より資料1に沿って説明。

- これまでの PT での成果
 - 自動運転バスに関しては、昨年度からの課題に対する解決策案・会員企業間での連携可能性について、技術面の課題・社会受容性の課題・事業性の課題の3つの観点から検討した。
 - サービスロボットに関しては、社会実装に向けた各種課題の洗い出し及び解決の方向性について、事業性の課題と社会受容性の課題の2つの観点から検討した。
- 今後の課題・要対応事項
 - これまで検討してきた課題の解決策を具体化するため、実証採択事業者を主体とした検討やコンソ会員を含めた検討を進める。

イ. マイクロモビリティ PT

■ OpenStreet 株式会社より資料1に沿って説明。

- これまでの PT での成果
 - マイクロモビリティに関しては、利用時の課題および解決の方向性について、乗車体験・社会受容性の課題、広報・PR の課題、他サービス連携の3つの観点から検討した。
 - モビリティステーションに関しては、幕張新都心にふさわしいモビリティステーションの在り方について、機能要件と機体要件の両面から検討した。
- 今後の課題・要対応事項
 - これまでの検討を受け、マイクロモビリティ関連の課題解決策具体化について、実証採択事業者を主体とした検討とコンソ会員を含めた検討を進める。
 - モビリティステーション設置に向けた検討の具体化についてはモビリティ利活用 PT と連携しながら検討していく。

ウ. モビリティ利活用 PT

- 東日本旅客鉄道株式会社より資料1に沿って説明。
 - これまでのPTの成果
 - 回遊性向上施策に関しては、回遊性向上施策案の絞り込みと具体化に取り組んだ。
 - MaaS連携に関しては、回遊性向上を目的として、認知拡大のための施策等を検討した。
 - 今後の課題・要対応事項
 - 回遊性向上施策については、実装に向けた協力体制の構築やロードマップの策定の検討を進める。
 - MaaS連携については、来年度に向けた回遊性向上施策とMaaSの連携体制の構築を検討する。
 - モビリティステーション設置については、新駅開業時のモビリティステーション設置への準備のため、設置場所の検討を進めていく。

エ. MaaSプラットフォームPT

- MONET Technologies株式会社より資料1に沿って説明。
 - これまでのPTの成果
 - MaaS機能については、提供情報の内容やモビリティとの連携について検討した。
 - 認知獲得施策については、アナログな発信方法も含めた実現可能な施策について検討した。
 - MaaSを活用した集客施策の実現性の検討としては、集客施策の内容検討やデータ共有に向けた体制について協議した。
 - 今後の課題・要対応事項
 - 施策をコスト面・実現可能性等の観点から選定し、実行に向けた体制づくりを進める。
 - 実証実験に留まらない持続可能な社会実装に向けた長期的な計画の策定に取り組む。

(3) コンソーシアム全体の課題・後半にむけた準備について討議

ア. 各WG幹事と事務局によるパネルディスカッション

テーマ1: コンソーシアムによるコラボレーションの可能性や理想のビジョンについて

テーマ2: 理想の幕張新都心の社会実装に向けて

- 討議内容については、別紙参照。

イ. 課題や問いをグループに分かれて検討(グループワーク)

テーマ：今年度後半のWG/PT活性化に向けた課題と改善策の洗い出し

■ ワークシートを活用したグループワークを実施。

3. 総括

■ 事務局より、参加への謝辞。

4. 連絡事項

■ 事務局より、これまでの各PTでの取り組み状況に関する資料を千葉市HP上で公開する旨説明。

■ 事務局より、今後も各種実証実験やPTでの討議を実施する旨説明。

5. 閉会

以上